

## 公益財団法人タカタ財団 2022年度事業報告書

(2022年6月1日～2023年5月31日)

2022年4月8日の臨時評議員会（書面審議）において承認された2022年度事業計画に基づいて推進してきた事業活動について、以下報告する。

### I. 役員に関する事項

#### 1. 評議員（2021年5月20日以降現在）

役職	氏名	現職
評議員長	近森 順	公益社団法人自動車技術会 名誉会員
評議員	石川 博敏	認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net） 理事
評議員	福田 守利	SJD 法学博士・国際経営カウンセラー・アメリカ法学者 神田外語大学 名誉教授 台湾天主教輔仁大学 特任教授
評議員	宮寄 拓郎	公益財団法人国際交通安全学会 理事 一般社団法人ドライブレコーダ協議会 監事
評議員	村井 勝	慶應義塾大学 名誉教授

#### 2. 役員（理事）（2022年8月5日現在）

役職	氏名	現職
代表理事	高田 暁子	財団統括
業務執行理事	薩摩 一彦	財団運營業務・広報事業
理事	西田 俊章	研究助成事業担当
理事	古谷 知之	慶應義塾大学総合政策学部 教授 教育助成事業担当

#### 3. 役員（監事）（2022年8月5日以降現在）

役職	氏名	現職
監事	尾澤 輝行	税理士法人 尾澤会計事務所代表
監事	佐藤 正典	公認会計士

### II. 理事会の開催

- 2022年7月8日（金）、理事会を開催し以下の議案について審議を行った。

## 【報告事項】

### (1) 代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項並びに定款第28条第4項の規程に基づき、代表理事（高田理事長）及び業務執行理事から職務について適切に執行している旨、報告された。

### (2) 定時評議員会の開催日

議長は、4月8日（金）に開催された臨時評議員会において、次の定時評議員会の開催日について、理事会より提案された8月5日（金）に決議された旨の報告を行った。尚、時下のコロナ禍における動向を見て書面審議による開催を含めた対応を考慮するが、対面での開催を強く目指すものとした。

## 【決議事項】

### 第1号議案 第13期事業報告書承認の件

議長は第13期（2021年6月1日～2022年5月31日）事業報告の説明を各担当理事に求め、

- ・薩摩理事より事業期間の全体活動及び理事会、評議員会について
- ・西田理事より研究助成事業の研究助成テーマ選考について
- ・古谷理事より寄附講座助成事業について
- ・薩摩理事よりタカタライブラリー事業及び広報事業について

説明が行われた。

説明の後、その承認を議場に諮り、満場一致で決議された。事業報告書の詳細は、会議資料の通りである。

### 第2号議案 第13期決算計算書類、財産目録承認及び監査結果報告の件

議長は2021年度決算計算書類の説明を担当者に求め、担当者より貸借対照表から正味財産増減計算書、財務諸表の注記、附属明細書、財産目録について以下の説明がなされた。

当期は、前期予算で提案した基本財産（定期預金）の半額を普通預金に振替え、一般正味財産として活用することを実施した。そのため、経常収益の受取寄付金は、1,000万円に抑えられ、基本財産からの振替500万円は、収支相償の観点から、全額法人会計に内入れすることとした。

説明の後、その決議を議場に諮ったところ、満場一致で可決された。

決算計算書類等の詳細は、会議資料の通りである。

### 第3号議案 任期満了に伴う理事選任提案の件

議長は、2022年8月の定時評議員会の終了の時をもって理事4名が任期満了となるため、現職の理事4名の重任を評議員会に推薦するものとした。

この提案を議場に諮り審議したところ、満場一致で承認された。  
現職の理事4名は、下記の通りである。(敬称略)

理事候補者指名：高田 暁子、薩摩 一彦、古谷 知之、西田 俊章

以上をもって本理事会の議案のすべてを終了したので、議長は17時30分に閉会を宣言した。

## 2. 書面決議による役付理事選定理事会

2022年8月5日開催の定時評議員会の理事選任決議を得て、理事高田暁子が理事及び監事の全員に対して、下記提案書を発し、当該提案について理事及び監事的意思表示を得るものとする。

### 提案書

#### (1) 理事会の決議があったものとみなされた事項内容

##### 第1号議案 代表理事に関する件

下記の者を当タカタ財団の代表理事として選定する。

理事 高田 暁子

##### 第2号議案 業務執行理事に関する件

下記の者を当タカタ財団の業務執行理事として選定する。

理事 薩摩 一彦

#### (2) (1) の事項を提案した理事の氏名

理事 高田 暁子

#### (3) 理事会があったものとみなされた日

2022年8月22日

#### (4) 議事録の作成に関わる職務を行った理事の氏名

代表理事 高田 暁子

#### (5) 理事会構成者

理事（4名）：高田 暁子、薩摩 一彦、古谷 知之、西田俊章

監事（2名）；尾澤 輝行、佐藤 正典

2022年8月5日、理事高田暁子が役員全員に上記の提案書を発し、当該提案について2022年8月22日までに理事全員から電磁的記録または同意する旨の意思表示を、また、監事から電磁的記録または書面により意義がない旨の意思表示を得たので、一

般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び当財団の定款第33条<理事会>に基づき、当該提案を可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

本理事会決議を明確に記録するため代表理事及び監事2名が議事録に記名押印した。

3. 2023年4月20日(火)、理事会を開催し、以下の議案について審議した。

#### 【報告事項】

##### (1) 代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項並びに定款第28条の規定に基づき、代表理事(高田理事長)及び業務執行理事(薩摩理事)から、期中の職務執行状況について、適切に遂行している旨の報告がなされた。

##### (2) 2023年2月15日実施の内閣府立入検査の報告

2月15日に内閣府公益認定等委員会事務局による3回目の定例立入検査が行われ、別紙「公益認定等委員会事務局立入検査結果について」にまとめられた通りの改善指摘事項があったので、その対策及び作成物を下記のとおり報告した。

作成書類は、「別紙」及び「資料1～3」は本事業報告書の末尾に添付する。

#### (報告)

- ① 評議員・役員の公益認定法人法第6条欠格事由なしの確認書の作成(資料1)
- ② 研究助成事業関連の研究委員会議事録不備分の作成
- ③ 寄附講座事業関連大学選考委員会議事録不備分の作成
- ④ 事務担当者とタカタ財団の業務委託契約書の作成(資料2)
- ⑤ 評議員並びに理事及び監事の報酬規程をHPに公開
- ⑥ 公印管理規程に基づく施錠管理場所の確保

#### 【決議事項】

##### 第1号議案 内閣府の指摘事項対応作成物の決議

議長は、2月12日の内閣府による定期立入検査において指摘を受けて作成した作成物のうち、下記規程については理事会の決議を得るものとして議場に諮り、理事会全員一致の決議を得た。

##### ① 公益通報者保護規程(資料3)

公益通報者保護規程の決議成立後、直ちに「内部通報窓口担当者」の選考を行い、下記の通りの選出を行った。

内部通報窓口担当者：理事 西田 俊章

## 第2号議案 2023年度事業計画書（案）の件

議長は、2023年度(2023/06/01~2024/05/31)事業計画（案）について、各担当理事に説明を求めた。

計画の主な内容は、「2023年度研究助成事業」は諸事情を鑑み休止を継続する。道路交通安全に関わる寄附講座「交通安全文化論」は公募結果として、慶應義塾大学への3年間の教育助成決定後の2年目となり、350万円の予算を計上、また「2022年度助成研究報告会」を2023年6月にオンラインで開催するための予算を5万円計上した旨の説明がなされた。

説明のあと、その決議を議場に諮り、満場一致で可決した。

## 第3号議案 2023年度収支予算書（案）の件

議長は、2023年度((2023/06/01~2024/05/31)収支予算（案）の説明を担当者に求め、担当者は2023年度収支予算書（案）に沿って説明を行った。

「研究助成費」は、事業計画書に示すとおり研究助成事業を休止とし予算計上はなく、道路交通安全に関わる教育事業「寄附講座」の350万円及び「広報費」の44万円を計上し、事業費の総額は725万円、管理費総額は275万円で予算総額は1,000万円の収支予算書（案）を作成した。

説明のあと、その決議を議場に諮り、満場一致で可決した。

## 第4号議案 5月の臨時評議員会及び7月の決算理事会、8月定時評議員会の開催日について

議長は、各会議の開催日及び時間について以下の案を議場に諮り、満場一致で可決された。

- ・5月臨時評議員会は、評議員の都合を考慮して開催時間を決めるとして、5月18日（木）の開催を理事会から提案する。
- ・7月決算理事会は、7月6日（木）16時30分から対面にて開催する。
- ・8月定時評議員会は、いまだ収まらぬコロナ禍等を考慮して、8月に書面決議で開催することとした。

以上をもって、本理事会の議案の全てを終了したので、議長は17時30分に閉会を宣言した。

## Ⅲ. 評議員会の開催

### 1. 2022年8月定時評議員会の開催（書面決議による。）

公益財団法人タカタ財団は、2022年8月、定時評議員会を以下の内容で実施した。

#### (1) 評議員会の決議があったものとみなされた事項

##### 【報告事項】

- ① 2021年度(2021/6/1~2022/5/31)事業報告
- ② 第10回助成研究報告会を開催(2022年6月8日)することの報告

【決議事項】

第1号議案 2021年決算計算書類等の承認及び監査結果の報告

決算書類等

- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書及び内訳表
- ・予算対比正味財産増減計算書
- ・財務諸表の注記
- ・附属明細書
- ・財産目録

監事の監査報告書

第2号議案 任期満了に伴う理事4名の選任

- ・現職理事4名の再任に際して、候補者ごとに表決を行った。

重任した理事4名：高田 暁子

薩摩 一彦

古谷 知之

西田 俊章

(2) (1) の事項を提案した者の氏名

代表理事 高田 暁子

(3) 評議員会の決議があったものとみなされた日

2022年8月5日

(4) 議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

代表理事 高田 暁子

2022年8月2日、代表理事が評議員に対して評議員会の決議の目的である事項についての提案を行い、当該提案について、評議員全員から書面による同意の意思表示を得たので、一般社団法人に関する法律第194条及び定款第5章の規定に基づき、決議事項を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

上記の通り一般社団法人に関する法律第194条第1項の規定および定款第5条の規定に基づき、評議員会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、議事録を作成し、その作成に関わった者が記名押印した。

## 2. 2023年5月臨時評議員会の開催

2023年5月18日（金）、臨時評議員会を開催した。

### 【報告事項】

#### (1) 2024年度研究助成事業中止の報告

研究助成担当理事から、2022年度は時下の諸事情を鑑み研究助成を休止したが、現在もコロナ感染禍は継続しており、研究活動にも支障があることから2023年度も事業の休止を決定した。しかし、今後の再開の可能性を残して、変更認定申請は行わないこととした旨の報告を得た。

#### (2) 2023年2月15日実施の内閣府立入検査結果の報告

2023年4月20日の理事会議事内容を参照のこと。

#### (3) 2023年8月の定時評議員会を书面審議にて開催する旨の報告

2023年4月20日の理事会議事内容を参照のこと。

### 【決議事項】

#### 第1号議案 2023年度事業計画書の件

代表理事より提出された2023年度事業計画書について、薩摩業務執行理事より説明がなされた。

- ・公益目的事業として「研究助成事業」は、時下の諸事情を鑑みて休止とする。
- ・交通安全に関わる教育事業「寄附講座」は公募の結果、慶應義塾大学への3年間の教育助成決定後、今年度は2回目2年度の教育助成を行う。
- ・タカタライブラリーの文献充実化及び関係諸機関とのリンク継続、財団の社会認知度向上を図る広報活動を行う。

また、西田理事より2022年の研究助成を対象とする「第11回助成研究報告会」を2023年6月8日（木）にオンライン方式にて開催するとして、5万円の予算計上をした旨の説明がなされた。

なお、評議員より、予算が計上されていない案件でも実際には諸費用がかかっているはずなので、次年度からIT関連費用を明確にすることのアドバイスがあった。

議長は、この事業計画書（案）を議場に諮り、出席評議員の挙手により決議を求めたところ、全員一致でこれを承認した。

2023年度事業計画書は、別紙のとおりである。

#### 第2号議案 2023年度収支予算書（案）の件

代表理事より提出された2023年度収支予算書（案）について、担当者より、2023年度収支予算は、900万円の「寄附受取金」をもって賄う。予算総額は、事業費と

しての寄附講座助成費 350 万円を含む 725 万円と管理費を合わせて 1,000 万円としたことの説明がなされた。

議長はこの収支予算書（案）を議場に諮り、出席評議員の挙手による決議を求めたところ、全員一致でこれを承認した。

2023 年度収支予算書は別紙資料のとおりである。

#### IV. 研究助成事業

##### 1. 2023 年度研究助成テーマの選定

新型コロナ禍の中、研究助成事業を推進することが難しいと判断され、2023 年度事業実施は見送られた。

##### 2. 2022 年度研究助成事業

2022 年度に実施した研究助成 5 件を完了した。

	研究テーマ	研究代表者	助成金額 (万円)	結果
1	無信号横断歩道手前に設置する法定外路面標示による速度抑制効果	大阪大学 准教授 飯田克弘氏	89.7	完了
2	半側空間無視を呈した脳卒中片麻痺者の自動車運転再開支援	静岡リハビリテーション病院 理学療法士 田中幸平氏	80	完了
3	長期観測運転データを用いた高齢運転者の加齢に伴う危険運転行動発生メカニズムの分析	名古屋大学 教授 山本俊行氏	80	完了
4	肘関節周辺外傷後の運転許可のために必要な関節可動域の検討	かわしまクリニック リハビリテーション科 副主任 岸本進太郎氏	60	完了
5	交通死亡事故における救護義務違反の発生要因の科学的解析による予防策の考察	東京女子医科大学 教授 木林和彦氏	40	完了

##### 3. 2020 年度助成研究報告会

4 件の内 3 件が新型コロナの影響で 2021 年度に持ち越しとなったため、2022 年 6 月 8 日に、オンライン方式により以下の 4 件が報告された。

初めてのオンライン方式であったが、自動車製造関連、教育関連を主体に常時約 50 名が聴講、聴講後のアンケート調査でも高い満足度評価が得られた。



	研究テーマ	報告者
1	長期観測運転データを用いた運転行動階層モデルに基づく高齢運転者の危険運転行動発生メカニズムの分析	名古屋大学 教授 山本俊行氏
2	運転・認知能力を反映する神経心理バッテリー・メーターパネル認識テストの開発	京都大学 教授 木下彩栄氏
3	認知症が疑われる高齢ドライバーを対象にしたリハビリテーション介入による免許継続・返納の判定基準構築	高知工科大学 客員教授 朴啓彰氏
4	子どもの視点から見た飛び出し事故対策	岡山大学 教授 橋本成仁氏

#### V. 寄附講座助成事業

2022年10月4日から2023年1月24日まで秋学期に開講した慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部（湘南藤沢キャンパス）共通講座「交通安全文化論」に対して助成を行った。

今年度の講義は、コロナ禍が落ち着きつつある状況を踏まえて、教室での対面講義とオンライン方式の併用で行われた。

##### (1) 本年度の履修生数・内訳

学部	1年生	2年生	3年生	4年生	小計	合計
総合政策学部	14	5	11	5	35	70
環境情報学部	6	5	13	10	34	
看護学部	1	—	—	—	1	

(参考：開講以来の履修生総数：3,355名)

##### (2) 講義テーマおよび講師

回	年月日	講義名	講師	所属・役職
第1回	2022年 10月4日	ガイダンス	古谷 知之氏	慶應義塾大学総合政策学部 教授
第2回	10月11日	交通安全文化とはなにか	小管 英恵氏	公益財団法人 交通事故総合分析センター 研究部 主任研究員
第3回	10月18日	国土交通省における交通安全の取組み	猶野 喬氏	国土交通省自動車局 車両基準・国際基準課 安全基準室長
第4回	10月25日	自動運転技術の国際基準調和活動	佐藤 健二氏	国土交通省自動車局 車両基準・国際課 国際企画室長

第5回	11月1日	交通事故死者削減のための課題と新技術	高橋 信彦氏	一般社団法人日本自動車工業会安全技術・政策委員会 車両安全部会長 日産自動車株式会社 認証法規部 技監
第6回	11月8日	交通事故死者ゼロに向けて -トヨタの安全への取組み-	葛巻 清吾氏	トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー フェロー
第7回	11月15日	Mobility as a Service (MaaS)	本間 和希氏	国土交通省総合政策局 モビリティサービス推進課 主査
第8回	11月29日	超小型モビリティの世界	小幡 正好氏	一般社団法人 日本自動車文化振興会 理事長
第9回	12月6日	レースの世界からみた交通安全	佐藤 琢磨氏	レーシングドライバー
第10回	12月13日	2輪自動車の安全	吉沢 重雄氏	本田技研工業株式会社 認証法規部法規企画室 法規情報課 主事
第11回	12月20日	自動運転の実現に向けた警察庁の取組みについて	伊藤 謙一氏	警察庁交通局交通企画課 自動運転企画室長
第12回	12月27日	四肢の交通外傷に対する整形外科的対応	佐藤 和毅氏	慶應義塾大学病院スポーツ 医学総合センター長・教授
第13回	2023年 1月17日	安全な交通社会の実現に向けて	松井 靖浩氏	独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 主席研究員
第14回	1月24日	自動車事故を防ぐ。 自動車事故から守る。 被害者を支える。	石田 勝利氏	独立行政法人 自動車事故対策機構 審議役

慶應義塾大学より、毎講義終了後に講師より履修生に課題が出され、履修生のレポートは、すべて講師にフィードバックされているとの報告を受けた。

#### VI. 交通安全公的文献ライブラリー（タカタライブラリー）の構築継続

道路交通安全に関わる日本国内官公庁・委員会等の公的文献のデータベース事業として「タカタライブラリー」の構築を継続し、新たに国内関係37件を追加し総計437件となった。

併せて、国際連合 ECE に掲載されている交通安全安全啓発資料について、当該資料管理事務部門に引用連絡した上で7件を公開した。

今年度に登録した文献のリストを末尾に添付する。

## VII. 広報事業

ホームページのコンテンツの充実

### (1) タカタ財団の情報公開

事業計画書、収支予算書、事業報告書、決算計算書、報酬規程の公開等随時更新

### (2) 2023年度研究助成

9月20日、公募休止を情報公開

### (3) 2022年度助成研究論文の掲載

No.	研究テーマ名	研究代表者
1	無信号横断歩道手前に設置する法定外路面標示による速度抑制効果	大阪大学 准教授 飯田克弘氏
2	半側空間無視を呈した脳卒中片麻痺者の自動車運転再開支援	静岡リハビリテーション病院 理学療法士 田中幸平氏
3	長期観測運転データを用いた高齢運転者の加齢に伴う危険運転行動発生メカニズムの分析	名古屋大学 教授 山本俊行氏
4	肘関節周辺外傷後の運転許可のために必要な関節可動域の検討	かわしまクリニック リハビリテーション科 副主任 岸本進太郎氏
5	交通死亡事故における救護義務違反の発生要因の科学的解析による予防策の考察	東京女子医科大学 教授 木林和彦氏

### (4) 国立国会図書館・科学技術振興機構への論文登録

2022年度助成研究論文は、国際標準逐次刊行物（International Standard Serial Number (ISSN)）「ISSN2185-8950」を継続使用（国立国会図書館の了解済み）し、オンラインジャーナル形式で国立国会図書館及び国立研究開発法人科学技術振興機構に登録を行った。

### (5) 大学病院情報ネットワーク (UMIN) への情報提供

UMIN センター情報公開サイトに研究助成公募の休止及び助成研究報告会の開催について情報提供を行い、助成研究報告会聴講者の増加を図った。

(6) リンク先の追加

2022年度、新たに追加したリンク先はなし。

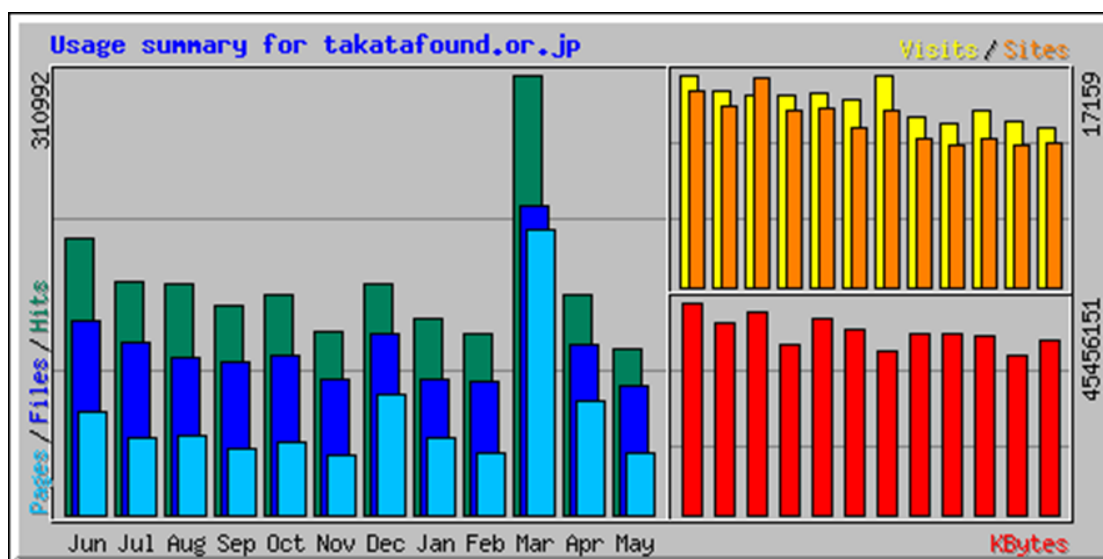
(7) リーフレットの随時改定

新規に掲載若しくは改定する事項はなく、従前のリーフレットに変更はなし。

(8) 佐野彰一氏（元東京電機大学教授）寄稿「交通安全コラム」の掲載継続

第258回(2022/6/1)～第281回(2023/5/15)まで計23回の掲載を行った。

参考：ホームページへのアクセスデータ（2022年6月1日～2023年5月31日）



月の統計										
月	一日あたりの平均				月合計					
	Hits	Files	Pages	Visits	Sites	KBytes	Visits	Pages	Files	Hits
<a href="#">May 2023</a>	3795	2930	1421	414	11557	37241571	12862	44081	90843	117661
<a href="#">Apr 2023</a>	5180	4004	2683	445	11522	33950936	13369	80504	120137	155404
<a href="#">Mar 2023</a>	10032	7058	6477	462	12017	38368674	14341	200810	218798	310992
<a href="#">Feb 2023</a>	4550	3349	1578	473	11527	38934915	13256	44197	93782	127423
<a href="#">Jan 2023</a>	4449	3110	1777	446	11974	38539237	13830	55112	96423	137919
<a href="#">Dec 2022</a>	5276	4107	2725	551	14205	35006177	17082	84475	127326	163583
<a href="#">Nov 2022</a>	4299	3199	1423	506	12805	39777898	15190	42710	95979	128993
<a href="#">Oct 2022</a>	5035	3636	1631	507	14420	41814251	15724	50591	112722	156104
<a href="#">Sep 2022</a>	4904	3576	1577	518	14253	36230136	15564	47337	107302	147144
<a href="#">Aug 2022</a>	5269	3578	1826	497	16818	43272236	15416	56616	110939	163356
<a href="#">Jul 2022</a>	5335	3931	1763	509	14563	41008071	15800	54663	121874	165387
<a href="#">Jun 2022</a>	6491	4567	2424	571	15828	45456151	17159	72720	137014	194744
<b>総合計</b>						<b>469600253</b>	<b>179593</b>	<b>833816</b>	<b>1433139</b>	<b>1968710</b>

2022年度公的文献ライブラリー掲載一覧

No.	主 管	会議開催日	会 議 名
1	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和4年6月13日	第8回今後の自動者事故対策勘定のあり方に関する検討会
2	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和4年7月12日	第9回今後の自動者事故対策勘定のあり方に関する検討会
3	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和4年9月29日	第10回今後の自動者事故対策勘定のあり方に関する検討会
4	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和4年11月25日	第11回今後の自動者事故対策勘定のあり方に関する検討会
5	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和5年1月16日	第12回今後の自動者事故対策勘定のあり方に関する検討会
6	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和5年1月14日	中間とりまとめ ～自動車事故被害者支援対策及び事故防止対策の安定的・継続的な実施に向けて～
7	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和5年2月7日	第13回今後の自動者事故対策勘定のあり方に関する検討会（最終回）
8	国土交通省自動車局 保障制度参事官室	令和5年2月14日	第13回今後の自動者事故対策勘定のあり方に関する検討会 最終報告
9	国土交通省自動車局 技術・環境政策課	令和4年6月30日	令和4年度第1回車両安全対策 検討会
10	国土交通省自動車局 技術・環境政策課	令和4年10月12日	令和4年度車両安全対策検討会 （書面審議）
11	国土交通省自動車局 技術・環境政策課	令和4年11月2日	令和4年度第2回車両安全対策検討 会
12	国土交通省自動車局 技術・環境政策課	令和5年3月17日	令和4年度第3回車両安全対策検討 会
13	国土交通省自動車局 技術・環境政策課	令和4年9月5日	車両安全対策検討会 第4回新たなモビリティ安全対策ワ ーキンググループ
14	国土交通省自動車局 技術・環境政策課	令和4年10月5日	車両安全対策検討会 第5回新たなモビリティ安全対策検 討ワーキンググループ
15	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/	令和4年10月4日	車両安全対策検討会 第1回送迎用バスの置き去り防止を

	車両基準・国際課		支援する安全装置（仮称）の仕様に関するガイドラインを検討するワーキンググループ
16	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/ 車両基準・国際課	令和4年10月20日	車両安全対策検討会 第2回送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置（仮称）の仕様に関するガイドラインを検討するワーキンググループ
17	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/ 車両基準・国際課	令和4年10月27日	第3回送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置（仮称）の仕様に関するガイドラインを検討するワーキンググループ
18	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/ 車両基準・国際課	令和4年11月1日	第4回送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置（仮称）の仕様に関するガイドラインを検討するワーキンググループ
19	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/ 車両基準・国際課	令和4年11月17日	第5回送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置（仮称）の仕様に関するガイドラインを検討するワーキンググループ
20	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/ 車両基準・国際課	令和4年11月28日	第6回送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置（仮称）の仕様に関するガイドラインを検討するワーキンググループ
21	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/ 車両基準・国際課	令和4年12月15日	第7回送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置（仮称）の仕様に関するガイドラインを検討するワーキンググループ
22	国土交通省自動車局 技術・環境政策課/ 車両基準・国際課	令和4年12月20日	送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン
23	国土交通省自動車局	令和4年9月30日	令和4年度第1回事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会
24	国土交通省自動車局/ 道路局	令和5年1月20日	第7回自動運転戦略本部
25	国土交通省都市局	令和4年12月13日	令和4年度第1回都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会

26	独立行政法人自動車事故対策機構	令和4年3月22日	2021年度第3回自動車アセスメント評価検討会
27	自動車事故対策機構	令和4年7月25日	令和4年度(2022)第1回自動車アセスメント評価検討会
28	自動車事故対策機構	令和4年12月15日	令和4年度(2022)第2回自動車アセスメント評価検討会
29	警察庁 交通局交通企画課	令和4年5月17日	第1回協調型自動運転システムへの情報提供の在り方等に関する検討会
30	警察庁 交通局交通企画課	令和4年7月8日	第2回協調型自動運転システムへの情報提供の在り方等に関する検討会
31	警察庁 交通局交通企画課	令和4年10月6日	第3回協調型自動運転システムへの情報提供の在り方等に関する検討会
32	警察庁 交通局交通企画課	令和4年12月16日	第4回協調型自動運転システムへの情報提供の在り方等に関する検討会
33	警察庁 交通局交通企画課	令和5年3月13日	第5回協調型自動運転システムへの情報提供の在り方等に関する検討会
34	警察庁 交通局交通企画課	令和5年3月	協調型自動運転システムへの情報提供の在り方等に関する検討報告書
35	警察庁 交通局交通企画課	令和4年10月20日	第1回自動運転の拡大に向けた調査検討委員会
36	警察庁 交通局交通企画課	令和5年1月19日	第2回自動運転の拡大に向けた調査検討委員会
37	警察庁 交通局交通企画課	令和5年3月	令和4年度自動運転の拡大に向けた調査検討報告書
1	UNECE	WP.29 How it works – How to join it	
2	UNECE	Road Map for Accession of UN 1958 Agreement_ & 1997 Agreement	
3	UNECE	Road Map for Accession to Implementation_ of UN 1998 Agreement	
4	UNECE	WP.29 Framework Document on Automated Autonomous_ Vehicles	
5	UNECE	Safety Belts – Occupants’ guide to wearing safety-belts	
6	UNECE	UNECE Reg.129 Increasing Safety of Children in Vehicles	
7	UNECE	UNECE Motorcycle Helmet Study	

以上